

多良

学校の教育目標「めあてをもち 力を合わせて やりぬく子」

503-1625 大垣市上石津町宮38 TEL 45-2619 FAX 45-3096

HPアドレス <http://www.ogaki-city.ed.jp/tara/index.html>Eメール tara@ogaki-city.ed.jp

回覧

ふるさと多良を学び、自分たちにできる活動を考える

校長 松野 光宏

先日、私はある地域の「ホタル祭」に出かけました。その夜は、昼間に雨が降っていたこともあり、少し肌寒く、ホタルの数はやや少なかったようでした。それでも、暗闇に浮かぶホタルの光はとても幻想的で、その光景はまさに『枕草子』の冒頭、夏の夜の一節のようでした。

「夏は夜、月のころはさらなり、闇もなお、蛍の多く飛び違いたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも、をかし。雨など降るも、をかし」

(夏は夜に趣がある。月が浮かぶ夜は当然風情がある。しかし、月明かりもなく闇に閉ざされた夜もよい。闇に見える飛び交う蛍の光。たくさん飛び交っている光も素敵だし、一匹、二匹だけの光も趣がある。雨など降っているときも、また風情がある)

このホタルの幼虫は水のきれいな川に生息するので、ホタルが舞う川や地域は自然が守られているとされています。同じように水質保全の目安となる指標生物に「カワゲラ」という水生生物がいます。

大垣市においても、ずいぶん前から、きれいな水に生息する「カワゲラ」を見つけて身近な河川の水質調査をする、いわゆる「カワゲラウォッチング」が行われていますが、本校でもこの活動に毎年4年生の児童が参加してきました。

今年度も、6月7日(火)に子どもたちが市の環境衛生課の方の支援を受け、学校橋のたもとの牧田川でカワゲラウォッチングを体験しました。

子どもらは、網で川底をすくったり、大きな石をめくったりしながら水中にいる生き物を探しました。この時には、カワゲラのほか、同じくきれいな川の指標生物であるヘビトンボの幼虫などが見付き、ふるさとの牧田川がきれいな川であることを体感することができました。

こうした活動は地域の河川の水質調査にとどまらず、そこから地域の環境問題を考えるきっかけになっていきます。

実際に、今、4年生では、環境を守るために自分たちにできることを考えて動き出しています。6月17日(金)には『多良クリーン活動』と銘打って学校周辺のゴミの調査をしたり、ゴミ拾いをしたりして地域の環境を美しくする活動を行い、この時には1.2kgものゴミを拾いました。

多良は子どもたちにとって、自然豊かなすばらしいふるさとです。学校では、今後も、地域の特色を調べ、体験し、そしてこれからのふるさとの姿を考えながら活動できる児童を育てていきたいと考えています。



カワゲラウォッチングの様子

